

平成 29 年度北海道地域マッチングフォーラム 開催要領

1. 趣旨

北海道では担い手の高齢化あるいは人手不足により、省力的な管理のできるカボチャの導入が進んでいます。さらに農研機構北海道農業研究センターでは、果実品質も高く、栽培の省力・軽作業化を実現する短節間カボチャ3品種を開発しました。しかし、収穫は重労働であるため、産地の維持あるいは拡大に向けて収穫機械の開発が強く期待されています。また、端境期となる冬季には外国産カボチャが80%以上を占めることから、産地を繋ぐリレー栽培や貯蔵方法の開発も進められています。これらの背景のもと、北海道を含めた大規模産地形成に対応する品種、収穫機械、貯蔵方法、さらに加工まで含めた生産から実需までを繋ぐ技術開発の連携にむけたフォーラムを開催します。

2. 開催日時 平成 29 年 11 月 10 日 (金) 13:00~16:30 (受付 12:00~)

3. 開催場所 大雪クリスタルホール (大会議室) 〒070-8003 旭川市神楽 3 条 7 丁目

TEL: 0166-69-2000

<http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/dept/85000000/85400000/index.html>

4. テーマ 「カボチャの品種、収穫から貯蔵技術の開発」

5. 主催 農林水産省大臣官房政策課技術政策室

農研機構北海道農業研究センター

後援 北海道、和寒町、北海道立総合研究機構、株式会社渡辺採種場

NPO 法人グリーンテクノバンク

6. 対象 生産者 (生産者団体を含む)、行政・普及機関者、関係研究者、関係団体・企業、

7. 参加費 無料

8. 定員 120 名

9. 申込方法 10 月 27 日 (金) までに、参加申込書に必要事項をご記入の上、FAX または電子メールにてお申し込みください。

10. 申込先 農研機構北海道農業研究センター 企画部産学連携室

FAX 011-859-2178 e-mail:kita-semi@ml.affrc.go.jp

11. 会場付近 JR 旭川駅から徒歩 15 分 (3 ページ目の地図参照)

なお駐車場はありますが、台数が限られるため公共交通機関の利用をおすすめします。

1 2. 実施内容

1) 開催挨拶 13 : 00～13 : 20

農研機構北海道農業研究センター所長 勝田 眞澄

農林水産省大臣官房政策課技術政策室（技術政策に関わる情報提供を併せて）

2) 講演 13 : 20～15 : 00

座長：農研機構北海道農業研究センター作物開発研究領域長 川口 健太郎

① 栽培の省力化に向けた品種開発

（農研機構北海道農業研究センター作物開発研究領域 主任研究員 嘉見 大助）

② カボチャ収穫機械開発の取り組み

（北見工業大学 工学部 機械工学科 生体メカトロニクス研究室 助教 楊 亮亮）

③ カボチャの貯蔵技術の開発

（鹿児島県大隅加工技術研究センター 研究専門員 鮫島 陽人）

④ カボチャの加工の現状と要望

（株式会社モリタン 代表取締役社長 平井 章裕）

4) 技術相談・展示 15 : 00～15 : 30

（技術及び連携等の相談並びに研究・技術ポスター、実物展示）

*受付開始後から講演開始までの時間（12 : 00～12 : 55）も対応します

5) パネルディスカッション 15 : 30～16 : 30

「品種、収穫機械、貯蔵、さらに加工まで含めた生産から実需までを繋ぐ技術開発の連携

～カボチャの生産の拡大に向けた機械収穫の方向～」

司会：農研機構北海道農業研究センター作物開発研究領域園芸作物育種グループ長 杉山 慶太

（パネラー：講演者に加え、北海道農政部技術普及課上席普及指導員 宮町 良治、北海道立総合研究機構農業研究本部花・野菜技術センター研究部花き野菜グループ研究主任 江原 清、和寒町和寒農業活性化センター農想塾所長 横井 義雄、農研機構北海道農業研究センター大規模畑作研究領域長 村上 則幸）

6) 終了 16 : 30

1 3. 問い合わせ先 〒062-8555 札幌市豊平区羊ヶ丘1番地

農研機構北海道農業研究センター 企画部産学連携室

Tel : 011-857-9260、Fax : 011-859-2178 電子メール : kita-semi@nl.affrc.go.jp

旭川駅から会場（大雪クリスタルホール）までの地図

